

総務文教委員会

5月臨時会

当委員会では、専決処分に関する議案3件を審査し、全て全員一致で承認しました。

6月定例会

当委員会では、議案6件を審査し、全て全員一致で原案どおり可決しました。

◎工事請負契約の締結について

総社西中学校校舎増築工事について中村建設株式会社と契約を締結しようとするもの。

設計どおり施工されなかったり、工事瑕疵があったりした場合の契約内容はどうか。

設計どおり施工されないということは認められない。やむを得ず変更が必要な場合は、議会の議決を得て施工していくことになる。また、工事瑕疵があった場合は、当然直してもらう。

なお、本議案の審査に先立ち、6月11日の本会議の終了後に委員全員で総社西中学校の校舎増築工事の現地視察を行い、担当職員から説明を受けました。



現地視察（総社西中学校）

◎総社市長及び副市長の給料月額の特例に関する条例の制定について

清音神在本線改良（下部工）その2工事の契約変更に係る不適切な事務処理に伴い、市長については2か月間、副市長については1か月間、それぞれの給料月額から10分の1を減額しようとするもの。

不適切な事務処理に関与

した職員に対する処遇の考えはどうか。

◎平成24年度総社市一般会計補正予算（第1号）

当委員会の関係部分は、総社小学校の校舎増築をプレハブ工法により行う経費の増額が主なもの。

教育長の視察及び出張に伴う普通旅費の増額について、4月の東京への出張は、教育長としての立場から考えると、誤解を生むものであった。今後は慎重に行動すべきと考えらるがどうか。

教育長は特別職ではないので、慎重に対応したい。

防災教育キャンプモデル事業の内容はどのようなものか。

9月に昭和小学校で、児童と保護者、地域住民が参加して、実際の避難所での生活を想定し、材料や食料が不足する中での不自由さを体験し

てもらい、地域の支え合いの必要性を体感してもらいながら、防災意識の向上を図るもの。

◎連合審査会での審査事項

請願第2号 総社市内の保育における障がい児の受入れに関する請願書について

請願内容が、幼稚園と保育所の双方に関するものであるため、総務文教委員会と厚生委員会の連合審査会を開催しました。（次ページに関連）

連合審査会は、内容に関して主たる委員会へ付託された場合、他の委員会にも関連がある場合は連合で審査するものです。なお、審査結果を決定するのは付託された主たる委員会です。

この請願の趣旨は、障がい児の保育所への入所を認めること、幼稚園や保育所へ障がい児を受け入れるための加算制度の創設や、教諭・保育士の増員を求めるものです。

厚生委員会

当委員会で審査した案件は、議案10件、請願2件（うち継続審査分1件）、継続審査となっていた陳情3件であり、主なものは次のとおりです。

◎議案第48号「総社市の特定の事務を取扱う郵便局の取扱い事務の一部変更について」

本年7月9日から住民基本台帳法等が改正され、外国人登録制度が廃止されたことにより、外国人も日本人と同様に住民基本台帳（住民票）に登録されます。そのために、阿曾郵便局で取扱いが行われている戸籍・納税証明・印鑑登録証明書などの交付事務のうち、外国人登録原票記載事項証明書の交付事務が削除されました。

◎議案第49号 総社市手数料条例及び総社市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について

外国人登録制度が廃止され

たことにより、市の手数料条例から外国人登録原票の交付等を削除するものです。また、同様の理由から印鑑登録及び証明に関する条例の条文整備を行いました。なお、外国人登録の証明件数は、年間約三百件ありました。

◎議案第50号「総社市ひとり親家庭等医療費給付条例等の一部改正について」

議案第51号「総社市中心身障害者医療費給付条例の一部改正について」

いずれも、「受給資格を失った日の前日までが医療費の給付対象期間である」と終期の定義が明確にされました。

◎議案第53号「平成24年度総社市一般会計補正予算（第1号）のうち、本委員会の所管に属する部分

議案第54号「平成24年度総社市介護保険特別会計補正予算（第1号）」

18歳未満の重度障がい者に係る療養介護給付費を県が給付していましたが、この度から市が給付することになったことによる扶助費の増額

介護保険制度の改正による電算システムの改修にかかる経費の増額

本市中学生による子ども議会の議員が、東日本大震災の被災地の行政視察を行う経費の増額

新たに設ける一般廃棄物最終処分場の基本設計等に要する設計委託料の増額

審査の過程で委員が次のような質問をしました。

子ども議会の視察参加者の内訳はどうなっているのか。

子ども17名、教諭4名、教育委員会職員1名、子ども課職員1名の計23名である。

子ども議員の選出基準はどうなっているのか。

各中学校の生徒数により案分している。

一般廃棄物最終処分場の

設計等委託料に関する業者決定はどのような方法で行う予定なのか。

入札によって業者を選定する。

生活保護のケースワーカーを1人増員したとのことだが、それで十分対応できるのか。

ケースワーカー一人当たり80世帯という基準があり、基準は満たすことになる。

地方債の利率は、現実ではどれくらいか。

種類・条件によって多少は変わってくるが、概ね1%前後で推移している。

◎請願・陳情

請願第2号 総社市内の保育における障がい児の受入れに関する請願書について

総務文教委員会との連合審査の後、本委員会で採決したところ、「願意は理解できているが、本市の現在の状況で条件が揃えば受入れが可能」なため趣旨採択としました。